

中学校社会科 地理的分野学習指導案

1：単元名 日本を広さを調べよう

2：単元の概略

- ①日本はどこからどこまでか考えることができる。
- ②日本の領土であるにもかかわらず、外国のナンバープレートをつけた車がなぜあるのか、考えることができる。領土問題を巡り困難な課題があることが分かる。
- ③日本の国土の概略と47都道府県の位置について理解することができる。

3：北方領土の教育への視点

- 日本の領土が北方領土を含めた範囲であることを認識させる。
- 領海、領空、領土3つの要素が整うことで主権の及ぶ国土の範囲となることを知らせる。
(小学校4学年で学ぶ、日本地理の発展型として、領空・領海・領土と主権の関係をつかませる。)

4：小単元展開の概要（全6時間）

- 第1時：日本の位置について学ぶ。
- 第2時：北方領土は日本の固有の領土なのに不当占拠されている事実を知る。（本時）
- 第3時：日本の地域区分の方法について学ぶ。
- 第4時：47都道府県の名称について学ぶ。
- 第5時：都道府県の名前の由来について学ぶ。
- 第6時：日本列島（略地図）描き方について学ぶ。

5：本時の主眼と展開概要

	主な学習内容と大まかな流れ	指導上の留意点	使用資料
導入	①日本国内（北方領土）にある車の写真を見る。 ・日本の車っぽいなあ ・日本の車でもちょっと古い感じがするなあ ・ナンバーは日本の物とは違うぞ ・普通車は少なく、ジープやワンボックスが多い。	・北方領土で撮影された写真であることは伏せ、あくまで日本車の写真であることに着目させ、疑問点を記述させる。	車の写真
展開	②学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習課題 日本車なのに、ナンバープレートが日本でないのはどうしてなのだろう。 </div> ③学習問題に対する予想・意見を書き発表する。 ・特別な車だから。 ・何か理由があると思う。 ・日本のナンバープレートでないなら、どの国のものなのか知りたい。 ・輸出された日本車ではないか。 ・あの写真はどこで撮ったのか知りたい ④教科書、資料集を活用して調べ、分かったことを発表する。 ・北海道のさらに北東部にある北方領土は本当は日本の領土なのにロシア人がずっといることがわかった。 ・日本が返してくれとお願いしているのにロシアは返してくれないのはひどいと思う。	・ナンバーの言葉を足がかりに国を想像させる。 ・どの国のナンバープレートが知りたいという意見が出たら、生徒に意見を言わせて、ロシアのナンバープレートであることを伝える。 ・北方領土内の写真であることも伝える。 ・北方領土では日本の中古車が多く使われている事実をpushさせる。 ・北方領土で日本車が多く使われる事実を追求することより、日本の領土内でロシア人が居住し、日本人が自由に上陸できない事実をpushさせる。	車の写真 教科書 資料集 地図帳
まとめ	⑤本時の感想を書き発表させる。 ・領土をめぐる難しい問題があることを確認する。 ・領土をめぐる言葉として「領土」の他に「領空」「領海」「領域」「経済水域」などの言葉を紹介する。 ・感想記入を行う。	・学習の歩みに本時の感想や新たに思った疑問等を記録させ、数人に発表させる。	学習の歩み

6：使用資料

北方領土で撮影された日本車の写真